社会福祉法人
宮城福祉会

さくらの里だより

令和５年8月号

さくらの里若柳
短期・通所・居宅・ケア・特養

栗原市若柳字川北塚原15-1
0228-32-7515

８月といえば、お盆を思い浮かべる人も多いのではないでしょうか。コロナウイルスによる規制がなくなったことにより、今年は色々な予定を立てている方も多いと思います。実家へ帰省してお墓参りをする人もいれば、お盆休みと有給休暇を組み合わせて旅行をする人もいるでしょうね。子どもたちの夏休みだけではなく、大人たちも夏休み気分を味わえるのが８月ですね。

今年の夏は全国的にも高温で残暑も厳しい予想です。冷たい物をいっぱい摂るのではなく、温かい物を少しずつこまめに摂ることも体調を整えてくれるそうですよ。予定している行事を楽しむためにも、熱中症に注意し夏バテしない生活を送りましょう。

それでは、今月は七夕行事の様子をご覧ください。（チバ）

ショートステイ
あんみつ作り

笹竹に折り紙の飾りと短冊の飾り付けを行いました。短冊には『長生きができますように』や『家族が健康でいますように』等々、様々な願いごとが。

笹竹が運ばれてくると、さっそく飾り付け開始。「ここさもだ」「こっちこっち」とバランスを取りながら次から次へと飾り付け。完成すると笹竹を見ながら～♪笹の葉さらさら♪～と七夕の歌を歌い拍手をして喜ばれていました。

その後には、七夕を祝うおやつ「フルーツあんみつ」を作りました。おやつと聴いて皆さんの眼はキラキラ☆みかんやパイナップルの果物やゼリーを切る担当と盛り付けの担当に分かれて作業開始！！

久しぶり（？）に包丁を持つ手は少々緊張気味。それでも昔取った杵柄。さすがの手さばきで美味しそうにカットし盛り付けられていました。最後は仕上げのホイップクリームで完成。「おお～いいね」「上手だ」との声。風で揺れる七夕飾りを見ながら美味しくフルーツあんみつを堪能しました。（イワブチ）

特養 七夕会

元気一番

７月10日にユニットで皆さんと一緒に七夕会を行いました(^^♪

　笹竹に折り紙で作った飾りを思い思いに飾りつけし、短冊に願い事を書いて吊るしました♪「願い事は何にすっかな～」と皆さん悩まれておりました。
その後に、おやつ作りをし「フルーツあんみつ」を作って、おやつの時間にみんなで食べました！！ご自分で盛り付けをして美味しそうに召し上がられていました。
　皆さんの願い事が叶いますように心から願っております。（ダイサク）

ケアハウス 七夕集会

　7月7日（金）エントランスホールで『七夕集会』を行いました。皆さんに短冊へ願い事を書いて頂き、笹竹に吊るして頂きました。
「笹の葉さ～らさら～(^^♪、のきばにゆれる～(^^♪」と一緒に歌を歌い、七夕クイズをすると「あら、何だったかしら？」と真剣に考える姿が見られました。お昼には七夕の行事食であります「そうめん」を皆さんで召し上がりました。そうめんは古代中国で食べられていた「索餅（さくべい）」と言う小麦粉と米粉を練って縄の形にしたお菓子です。そうめんを行事食として食べる由来についてお話しをすると「そういう由来があったのね～」と感心されておりました。今後も皆さんの健康を祈りながら、楽しい生活が送れるように職員一同願いをこめて過ごしたいと思います。（オジマ）

デイサービス
七夕飾り

午後の活動として「創作レク活動」を始めました。軽体操や脳トレ、塗り絵など様々な活動を行っています。

７月の大きな行事、七夕飾りでは貼り付けや仕上げ作業以外にも、折る・糊付け・紐を通すなど・・細かな工程を皆さんと一緒に行いました。一人ではなかなか難しい作業も同じ席のご利用者様同士、声を掛け合い、手を貸し合いながら個々に一つの作品を完成させました。土台に使った竹細工がとっても涼しげで、色とりどりに賑やかな飾りを引き立たせ、皆さんの作品一つ一つが、季節を感じさせてくれるステキなアートになっています。

今年は仙台七夕も４年ぶりにコロナ禍前の規模で開催され、大きな吹き流しを目の高さで眺めたり触れて見る楽しみが一つ戻りました。

デイサービスでも少しずつ活動の楽しみを皆さんと一緒に感じられるよう、季節や行事に合わせた創作レクを続けたいと思っています。

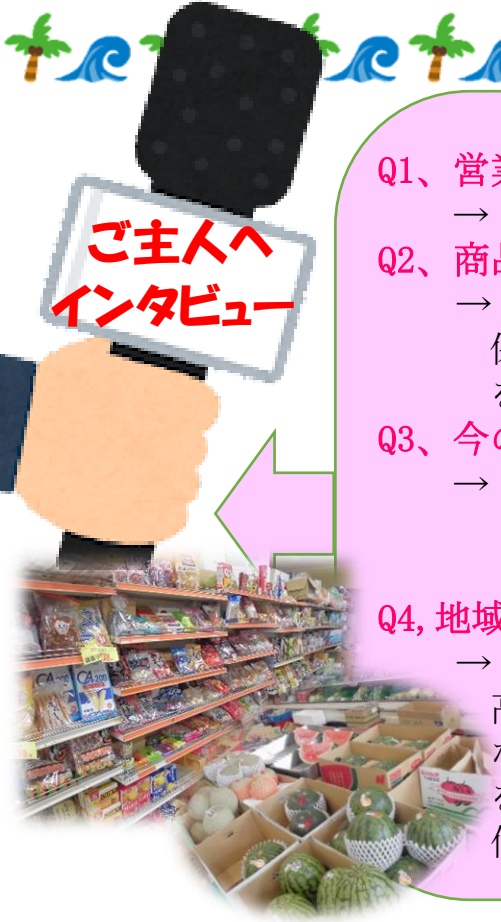
お楽しみに♪♪♪（イシカワ）

今回ご紹介するのは若柳川北新町にある「スーパーマーケット　けづりこや」さんです。

さくらの里をご利用する皆さんの中でも、特に女性の方々は「台所仕事をしていた頃にお世話になった」という方がたくさんいらっしゃいます。さくらの里でも施設を立ち上げた１６年程前から食事に使う野菜や果物を卸して頂いており、大変ご縁のある地域に根差したお店屋さんです。

ご主人の話では、お店を始められたのはおじいさま。ご主人で３代目、創業約８０年近くになるそうです。当初はお店の名前のとおり、けづりぶしの魚の加工から販売までするけづり節屋として始められたそうです。その後は、地域の需要に合わせて様々な商品を取り扱うようになったとのことでした。

私は住まいが迫町なので、今回の取材で初めてお邪魔しました。店先から店舗奥まで野菜や果物、生鮮食品、お惣菜や菓子類、日用品。「ないものはない！」と言えるほど様々な商品を取り扱っていました。（アヤカ）



Q1、営業日を教えてください。

→　月曜日から土曜日（日曜定休日）９時～１８時

Q2、商品を扱う際に気をつけていることは？

→　今の時期は特に鮮度に気を配っています。冷房や保冷容器を使い、市場から店舗まで毎日新鮮な商品を仕入れて運んでいます。

Q3、今の時期にお勧めしたい商品は？

→　特に旬の果物です。今はスイカが出ており大玉だけでなくカットして買い求めやすいようにして出しています。

Q4, 地域の皆様に一言。

→　いつもご利用ありがとうございます。最近では、高清水や金成の方面まで配達に出ていることが多くなりました。ご高齢になるにつれ、買い物に不自由を感じている方もいらっしゃるかと思います。何かありましたらお声を掛けて下さい。

今回お話を伺い、私も含め大型の店舗で買い物をすることが多いこの頃。ぜひ身近にある地元のスーパーを活用いただき、地域の良さを再発見できる機会が増えればいいなぁと感じました。今回、配達時間の合間の貴重なお時間に快くさくらの里の取材を受けて下さいました。けづりこやさん、大変ありがとうございました。

せっかくの機会に今回けづりこやさんで購入した旬のフルーツをデイサービスの活動「カフェ行事」の中で皆さんに召し上がっていただきました。旬の食べ物は栄養価や香りが高く、見た目も美しい。目でも楽しめる贅沢なおやつに仕上がりました。皆さんの満足気なお顔で、美味しさが伝わればいいなぁと思います。

編集後記

今年は毎日35℃(;^ω^)水分を多く摂りましょうと言われますが、そもそも1日に必要な水分量はご存じですか？身体の大きさや気温によりますが、2.5Ｌの水が必要だそうです。そのうち、1Ｌは食事に含まれ、0.3Ｌは体内で作られる水分からまかなわれるので飲み水としては1.2Ｌ必要とのことです。水分補給の目安としてみてはいかがでしょうか。来月は夏らしい広報誌になる予定です☆（アユミ）